

●『ハンナの戦争』ギオラ・A・プラ  
フ著、松本清貴訳 ミルトスニ〇〇〇  
円 戦争中、ユダヤ人であるために激  
しい弾圧を受けた少女ハンナ。本書は  
息子である著者が、波乱に満ちた母の  
生涯を描いた物語。

ホロコーストの数々の危機から彼女  
を救ったのは、勇氣と知性と異国民に  
も慕われるその人柄だった。「どんな暗  
闇にも希望の光はきつと射し込む——  
そのことを知ってほしい」という著者  
の言葉に感動。